

令和 7 年度 第 6 回栃木県支部役員会議事録

- ・開催日：令和 8 年 2 月 14 日（土）10：00～12：00
- ・開催場所：宇都宮市まちづくりセンター（まちぴあ）
- ・出席者：小川正順、西谷元則、亀田則男、新井達雄、徳江義宏、井本郁子、
日高倫明、石附尚志、冨田拓哉、吉岡雅也（敬称略）
- ・委任状：福田一郎、島田源一、谷口雅昭、宮下治、水野潤

1. 審議事項

(1) 総務委員会

小川副支部長より

本部としては、ネットのウェブでの費用の支援については 3 月末までとするとのこと。他の事業へ予算を振り分ける方向であるとの話があった。

(2) 企画・研修委員会

石附企画・研修委員長

技術士の人脈作りの助けになる行事として、『春の栃木県支部技術士の集い』を考えている。特に若年層に参加頂けると良いと考えている。

目的： 技術士の人脈を作る助けとなる行事としていく

時期及び具体的運営方法：6 月下旬頃で宿泊型。参加者が多い場合は、小規模のグループに分け技術士会栃木県支部員が、ファシリテータを務め運営を進める。

上記に対する主な意見

- ・子育て真只中の四十代の宿泊は難しいので、家族ごと参加できるものと考えてはどうか。
- ・参加した子供に対して「理科教室」を同時に開催してはどうか。
- ・自然観察会も有用ではないか。
- ・DEI をテーマに組み込み、女性の子育て仕事の両立に関する講演会などと組み合わせ実施してはどうか。
- ・飛躍しすぎて趣旨がずれないようにしなければならない。
- ・その他の意見として、技術士の社会貢献という観点からは、「スマート農業」に着目してはどうか。農業従事者はデータの取り扱いが不得手であるので、そこを支援する。

結論

まずは、小規模なものから始め、回数を増すごとに規模を拡大する。

2. 令和 8 年度 年次大会・講演会・新規合格者歓迎会・交流会について

小川副支部長

開催日：7 月 4 日（土）とする。内容は昨年度同じ。

場所：年次大会・講演会（ニューみくら）交流会、新規合格者歓迎会（ホテル丸治）。

会費：講演会無料、交流会費 6000 円 新規合格者招待無料。

講演内容：講師：現在検討中である。

3. 活動報告事項

①企画・研修委員会

石附委員長

昨年 12 月の CPD 講演会での宇都宮大学山本先生の講演は、宇都宮の歴史を再認識することができ、有用な講演であった。

②防災委員会

亀田副委員長

1 月 22 日の現場見学会（巳波川放水路）では、その規模（ $\phi 6.5\text{m}$ ）といい県内では数少ない工法を見学でき、シールド技術を知ることができた。

4. 報告事項

①総務委員会

小川委員長

本部よりの特任事項として、技術士会栃木県支部の位置づけを明確にするよう求められている。関東 8 県支部と検討グループをつくり検討していく。

②国際委員会

2026 年のサクラサイエンス事業が公示になった。今後 3 月 6 日に委員会を開催し内容をして検討していきたい。

③地域社会貢献委員会

今後水をテーマにした事業を考えていきたい。

④男女共同参画推進委員会

技術士はどういう仕事をするのか、大学生に話をすることが大切。

技術士資格を持つことで、女性はずっと働ける。就職の参考になる、そのことをうったえていきたい。

【次回開催予定日】

令和 8 年 4 月 11 日（土） 場所：未定

議事録書記 吉岡雅也

議事録署名人 石附尚志

議事録署名人 日高倫明